

# NPO法人民間稲作研究所公開シンポ

— 農薬・遺伝子・放射能汚染そしてTPPを乗り越えるために —

2015, 2, 14 (土) PM1:30~15(日) PM12:30 会場コンセーレ

**第I部 慣行栽培を超えた「誰でもどこでもできる有機農業の新展開」(14日 13:35~15:30)**  
基調提案 有機稲作の到達点と栽培技術完成のための課題  
稲葉光國(NPO 法人民間稲作研究所)  
報告1 中国鎮江市の実践に学ぶウンカ被害克服技術  
張 安明(農文協)  
報告2 慣行栽培を超え、安定多収を実現してきた有機稲作  
伊藤正巳(宮城県大崎市・文書発)  
報告3 モミガラ燻炭を使った抑草と食味・収量の安定対策  
中道 唯幸(滋賀県中主町)  
報告4 最終分けつの伸長条件に関する考察  
佐藤 匠(民稲研修生)  
報告5 温水で野菜・果樹の病害虫防除(その2)  
松本 嗣夫(宮崎アグリアート)

全国の英知を集め  
出来上がった雑草防除技術  
何処でも誰でもできる有機稲作とは

安全安心な農産物の生産  
生物の多様性を育み環境を再生  
慣行栽培よりも省力・低コスト  
安定した再生産価格を実現

自然の循環機能を活かした有機農業  
は農薬・化学肥料を使っては  
壊れてしまう農の世界です。



元朝日新聞論説委員、元朝日ニュースター(CS放送)キャスター、元『週刊金曜日』編集長。



元名古屋大学理学部大学院生命理学科 分子生物学者、チェルノブイリ救援中部理事

**第II部 農薬・放射能・遺伝子汚染と向き合った農業者の戦い(15:40~19:00)**  
特別講演「世界で進むネオニコチノイド系農薬の規制—EU・米国・日本の対応—」  
ジャーナリスト 岡田幹治氏 (15:40~16:30)

特別講演 放射能の新たな汚染拡散の実態と菜の花栽培による農業再建の可能性  
チェルノブイリ救援中部理事 河田昌東氏 (16:40~17:30)

報告1 レンゲ・なたね・ひまわり・ソバの有機栽培による除染とミツバチ救出  
杉山修一 塩谷町大規模特裁・有機農家(17:40~17:55)

報告2 田畑の除染・ミツバチ救出・非GM肥料とグリーンオイルプロジェクト  
一般社団法人グリーンオイルプロジェクト 国弘・稲葉(18:00~18:15)

報告3 放射性廃棄物の最終処分場設置問題をめぐって  
栃木県弁護士会 大木一俊 (18:20~18:40)

総合討論

**第III部 生物の多様性を育む農業を核とした地域自給の試み(15日 9:00~12:30)**

特別講演「各地に広がるTPPに対抗する食と農そして地域経済再建の試み」

コモンズ代表 大江正章氏

報告1 日本型直接支払の法制化と環境保全型農業直接支払の意義

斉藤 光明(NPO 法人オリザネット理事長)

報告2 有機稲作チャレンジプロジェクト・マイオイルに参加して 堀井正明(朝日新聞 記者)

報告3 千葉県いすみ市の有機栽培米100%学校給食の取り組み

矢澤喜久雄(峰谷営農組合長)・鮫田(いすみ市農林課)

報告4 浦和めぐみ幼稚園の発芽玄米食の試み 川部弘子(管理栄養士・文書発表)

報告5 アジアに集中する農薬汚染克服の取り組み—ブータン王国との技術協力  
田坂興亜(アジア学院理事)



1957年神奈川県生まれ、早稲田大学政経学部卒、岩波新書「地域の力—食・農・まちづくり」の著者、各地に広がる地域の特性を活かした農業の自立や環境保全の取り組みを紹介する。

第2次安倍内閣の誕生で、TPPの妥結は確実な情勢となってきました。農業が破壊され、マクドナルドに象徴されるような異物混入や添加物・農薬・遺伝子・放射能汚染で食の安全が脅かされ、地域経済がさらに疲弊する時代になっては子供や孫たちの未来はありません。今回はそれぞれの分野でご活躍の著名な方々をお招きし、各地の有機農家の実践報告を頂きながら、有機農業を核とした食の安全や環境再生、そして地域経済再建の可能性をテーマに熱い論議を交わしたいと思います。多くの皆様のご参加をお待ちいたします。 2015年1月 NPO法人 民間稲作研究所 稲葉光國

## 公開シンポ参加申込書

**第1次締切 2月6日です。以降は定員になり次第打ち切りとなります。fax 0285-53-1133**

ご氏名 \_\_\_\_\_ 電話 \_\_\_\_\_

ご住所 〒 \_\_\_\_\_

**参加するシンポの参加金額を○で囲みマックスして下さい。3日前からのキャンセルは全額料金支払となりますのでご注意ください。なお資料のみご希望の方は1000円で頒布します。**

		14(土)			15(日)	
		総会	第ⅠⅡ部 技術・放射能・ 農薬汚染 13:45~18:30	試食・懇親会 19:00~21:00	宿泊	第Ⅲ部TPPと地域再生 9:00~12:30
会員	全日程	16,000円(1日目の弁当代を含む)				
	部分参加	3,000	5,000	5,000	2,000	
非会員	全日程	18,000円(1日目の弁当代を含む)				
	部分参加	4,000	5,000	5,000	3,000	

※ 申込確認後 郵便振替用紙を発送いたしますので内容をご確認のうえご入金下さい。

問合せ先 NPO法人 民間稲作研究所 栃木県河内郡上三川町鞆堂 72

TEL/fax0285-53-1133 メール [urata@inasaku.or.tv](mailto:urata@inasaku.or.tv) 担当 浦田・稲葉

## 会場（コンセーレ）案内図



〒320-0066 栃木県宇都宮市駒生 1  
町目 1 番 6 号  
財団法人栃木県青年会館  
電話028-624-1417  
FAX028-624-1843 E-mail :  
concere@olive.ocn.ne.jp

### < 交通のご案内 >

- 東北自動車道
  - 東京方面からは鹿沼ICより9.5km
  - 仙台方面からは宇都宮ICより9.0km
- JR宇都宮線宇都宮駅
  - 関東バス[作新学院駒生]行き(⑥⑦番のりば)東中丸バス停下車(コンセーレ前)
- 交通機関料金
  - バス ( JR宇都宮駅 ~ 東中丸 ) 200円
  - タクシー(JR宇都宮駅より) 約1,700円